



能代高校東京同窓会会報 第14号

奮え松陵、我が健児

発行：能代高校東京同窓会  
 発行人：会長 島 豊彦  
 編集人：副会長 小林 武廣  
 電話：045-227-7550  
 E-mail：BRB06442@nifty.ne.jp

平成16年度 能代高校東京同窓会総会のご案内

【日時】平成16年10月2日(土)

□受付 13:30～

□講演会 14:00～15:00 建築家 納谷 学氏  
 納谷 新氏

□総会 15:15～16:00

□懇親会 16:10～17:30

【場所】アルカディア市ケ谷(私学会館)

JR市ケ谷駅下車、地下鉄新宿線、有楽町線(A1-1、A4

出口)南北線(A1-1出口)市ケ谷駅下車3分

TEL 03-3261-9921

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25

【懇親会会費】7,000円 女性 5,000円  
 学生 2,000円

【年会費】3,000円(年会費をお振込みいただいた方を除き、当日受付にて受領いたします)

【出欠ハガキ】出席するか否か、住所・氏名等を、同封ハガキに記入して9月20日までに投函してください。出席の連絡、又は本会についての問い合わせは、次の電話、FAX、またはe-mailでもできます。

電話 045-227-7550 FAX 045-227-7570

BRB06442@nifty.ne.jp

島特許事務所内 能代高校東京同窓会事務局

2004年 総会アトラクション・講演会



講師：納谷 学(49期)  
 納谷学(なや・まなぶ)氏略歴  
 1961年 秋田県能代市生まれ  
 1979年 能代高等学校卒業  
 1985年 芝浦工業大学卒業  
 1985年 黒川雅之建築設計事務所勤務  
 1987～88年 野沢正光建築工房勤務  
 1993年 納谷建築設計事務所設立



講師：納谷 新(54期)  
 納谷新(なや・あらた)氏略歴  
 1966年 秋田県能代市生まれ  
 1984年 能代高等学校卒業  
 1991年 芝浦工業大学卒業  
 1991～93年 山本理頭設計工場勤務  
 1993年 納谷建築設計事務所設立

◎アラタジュン

新進気鋭の若き建築家と呼ぶにふさわしい建築デザイナーが、自分たちの手がけた作品を投影しながら建築設計への熱い思いを語ってくれます。11年前に独立して二人で設計事務所を設立してから、2000年に至り立て続けに設計コンペで入賞して脚光を浴びてきました。個人住宅から店舗、集合住宅、リフォーム、プロジェクトと幅広く、施主の希望に合致した新しい居住空間作りを目指しています。最近の建築雑誌や新聞でも多く取り上げられている働き盛りの兄弟同窓生が、新しいモノの創作について爽やかに語ってくれることが期待されます。

主な受賞歴 2000年あたたかな住空間コンペリフォームの部最優秀賞(s-tube)・住宅建築賞奨励賞(s-tube)／2001年グッドデザイン賞(宝珠楼)・(イギリス)ar+d賞入賞(宝珠楼)／2002年JCDデザイン賞入賞(宝珠楼)・インテリアプランニング賞最優秀賞(403号室)／2003年日本建築士会連合会奨励賞(宝珠楼)／2004年あたたかな住空間コンペ新築の部入賞(teshihouse)・(イタリア)デダロ・ミノス国際賞2004作品選賞(宝珠楼)

幹事会ニュース (16年度活動記録から)

- 平成15年10月19日(日)東京八竜会 2名出席 ●平成15年11月16日(日)関東琴丘会 1名出席 ●平成15年11月25日(水)幹事会(忘年会) 於・富士通築地クラブ ●平成15年11月27日(木)秋高連役員会 1名出席 ●平成16年1月22日(木)在京秋田県人会新春交歓会 1名出席 ●平成16年1月23日(金)能代高校同窓会新年会 於・金勇 3名出席 ●平成16年2月25日(火)幹事会 於・東映会館 11名出席 ●平成16年3月30日(火)秋高連委員会 2名出席 於・理窓会館 ●平成16年4月20日(火)幹事会 於・東映会館 14名出席 ●平成16年5月23日(日)能代西高東雲会 於・アルカディア 3名出席 ●平成16年6月1日(火)協賛広告依頼状発送作業 於・小林税務事務所 ●平成16年6月6日(日)東京八森会 於・新宿ワシントンホテル 3名出席 東京鳳鳴会 於・京王プラザホテル 2名出席 ●平成16年6月22日(火)幹事会 於・アルカディア 14名出席 ●平成16年7月4日(日)東京山本会 於・アルカディア 2名出席 ●平成16年7月9日(金)事務局会議 於・島特許事務所 ●平成16年7月29日(木)秋高連総会 於・グランドヒル市ケ谷 8名出席

- 主要紙面案内
- 2面 島会長・菊谷校長挨拶
  - 4面 盛り上がった総会・懇親会
  - 6面 我らが同期会
  - 8面 ！これからの東京同窓会
  - 13面 能代の名前が消えそうです
  - 15面 決算報告書・他
  - 16面 出席者・会費納入者名簿

## 組織力を伴った同窓会に

能代高校東京同窓会会長 畠 豊彦



平成16年度総会・懇親会の時期にあたり、本年も各会員をはじめ各方面からご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

私は3期目の任期の途中に当たりますが、本会の運営等について改めて所感を述べます。本会は基本的にはまだまだ足腰が弱くひ弱い体質から抜け出していない状態にあります。伝統のある大館鳳鳴高、秋工高、秋商高などの東京同窓会を見習い、骨格のしっかりした強い足腰を作り会員の増加を図ることが急務であると考えます。100名に満たない総会出席会員を150名とし、130名に満たない年会費納入会員を200名とすることが運営資金等の面からの目標であります。年間予算額で170～190万円程度の運営資金の調達に苦慮しながら活動を続けているのは他校同窓会と同じことでしょうか、会員の増加と資金の増収を図ることは同窓会の永遠の課題でしょう。しかし、その課題を解決してゆく土台は、同期会幹事をベースとした幹事会、役員会、事務局の3組織が総合された組織力ではありますが、残念ながら本会の場合は思い切ったりストラを行わないと組織力が生まれにくい状態にあります。組織体系、規約等の見直しを行い、各卒業期から2名の幹事を選出委嘱し、その中から日常業務を分担する常任幹事を選出し、そのまとめ役として幹事長を置く、典型的なスタイルを再検討する時期にあります。母校同窓会支部から独立して主体性をもった東京同窓会を設立した先輩諸氏の意を体して運営を継続してゆくべきであります。母校同窓会との二重会員性を踏まえた上で連携を更に強化してゆく必要があります。同窓会員の高齢化に伴い世代間差が広がる傾向がありますが、それが若者離れを促進しているとはいえません。同窓会を通じての交流に意義を認め気軽に一会員として自分のできる範囲で参加し協力できることを求めている若い会員が多くいるはずですから、私たちは彼らと共同作業ができることを確信しております。仮称「樽子山会」の老人会や、女性会員を含む「青年婦人部」の構想、そして趣味や教養を共有する会などを求める声も理解できますが、今は先ず組織の建て直しの時期であると思っておりますので、会員の皆様の一層のご理解と協力をお願いするしたいです。

## 能高就任にあたって

能代高等学校長 菊谷 一



東京同窓会の皆様には、母校の教育振興と在校生の激励のために、平素から特段のご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。前任の阿部校長の後任として、県高校教育課から転任してまいりました。前校長同様に、ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

就任早々に、同窓生各位から、貴重なご助言をいただきました。それを真摯に受け止めて、期待に添うべく、「学校週五日への対応」「大学進学の本質と量の拡大」「部活動の活性化」の3つの課題を先生方に示し、生徒のやる気を喚起し、本年度のスタートを切ったところであります。全力を尽くしてまいります所存であります。

少子化傾向が一層進み、県財政の逼迫した状況の下で、県教育委員会は今後の本県教育の方向を示す素案を発表しました。その中には能代市内5校の高校統合整備計画も含まれております。また、本校は来年度から、学級数を一つ減じて生徒募集することになりました。これらの新たな課題にも早々に対処しなければなりません。

全県一通学区となる来年度からはある意味で本校の真価が問われることとなります。本校の歴史と伝統を踏まえつつ、将来構想を検討していきたいと考えております。

東京同窓会の発展を祈念して、ご挨拶を申し上げます。

### 協賛広告まことにありがとうございました

晶特許事務所	3	山縣 輝輔	11
みちのく銀行	3	石川 正順	11
東京八竜会	4	印刷工芸	13
東京八重洲ホール	5	熊谷 洋三	13
関根カイロプラクティック院	5	東京山本会	13
熊谷 幸夫	7	能代高校第49期	13
オカバアート	7	素 道	14
大久保征輝	7	石嶋 喜直	14
豊田誠法律事務所	8	ナチュラル社	14
友 和	8	ホンマテクニカル	14
佐々木 章	9	税理士 小林武廣事務所	14
信太吉右衛門	9	ビジネスコンサルタント	14
斉藤司法書士事務所	9	能代高校第26期	15
納谷建築設計事務所	10	きくち	15
畠山 信孝	10	能代高等学校同窓会	16
大森太田印刷	11	※寄付 金谷芳郎 (敬称略)	